



建設省
茨城県
埼玉県
千葉県
東京都
神奈川県

横浜市
川崎市
千葉市
都市基盤整備公団
日本道路公団
首都高速道路公団

キリトリ線
郵便はがき

1 6 2 - 8 7 9 0

料金受取人払
牛込局
承認
9869

(受取人)

東京都新宿区市ヶ谷本村町2-9
東京多聞ビルB1
「東京都市圏交通調査推進本部」内

『交通に関する意識調査』実施本部 行



アンケートに記入された方について

1つに つけて 下さい	1.男性	2.女性	年齢	_____才
職業 1つに つけて 下さい	1.会社員	2.公務員	3.自営業	
	4.学生	5.主婦	6.その他	7.無職
ご住所	_____都・県	_____市・区・町・村		

このアンケート結果の送付を希望される方は下記にご記入下さい

ご住所	〒□□□□-□□□□
	_____都・県 _____市・区・町・村
お名前	

問い合わせ先

このパンフレットについてのお問い合わせは、
下記までお願い致します。

- 建設省関東地方建設局企画部広域計画調査課
(TEL 03-3211-6261, FAX 03-3211-8197)
- 茨城県土木部都市局都市計画課
(TEL 029-301-4583, FAX 029-301-4599)
- 埼玉県住宅都市部都市計画課
(TEL 048-830-5344, FAX 048-830-4881)
- 千葉県都市部計画課都市政策室
(TEL 043-223-3166, FAX 043-225-4012)
- 東京都都市計画局施設計画部交通企画課
(TEL 03-5388-3283, FAX 03-5388-1354)
- 神奈川県県土整備部都市計画課交通企画班
(TEL 045-201-1111, FAX 045-212-8414)
- 横浜市企画局企画調整部総合交通計画課
(TEL 045-671-4086, FAX 045-662-7362)
- 川崎市まちづくり局計画部都市計画課
(TEL 044-200-2034, FAX 044-211-7475)
- 千葉市都市局都市部都市計画課
(TEL 043-245-5306, FAX 043-245-5559)
- 都市基盤整備公団都市整備部事業計画課
(TEL 03-3263-8392, FAX 03-3263-8188)
- 日本道路公団東京建設局建設第一部企画調査課
(TEL 03-5418-2027, FAX 03-5418-2050)
- 首都高速道路公団計画部調査課
(TEL 03-3539-9408, FAX 03-3502-2412)

東京都市圏交通計画協議会 ホームページアドレス
<http://www.ijjnet.or.jp/tokyopt/>



古紙配合率50%再生紙を使用しています

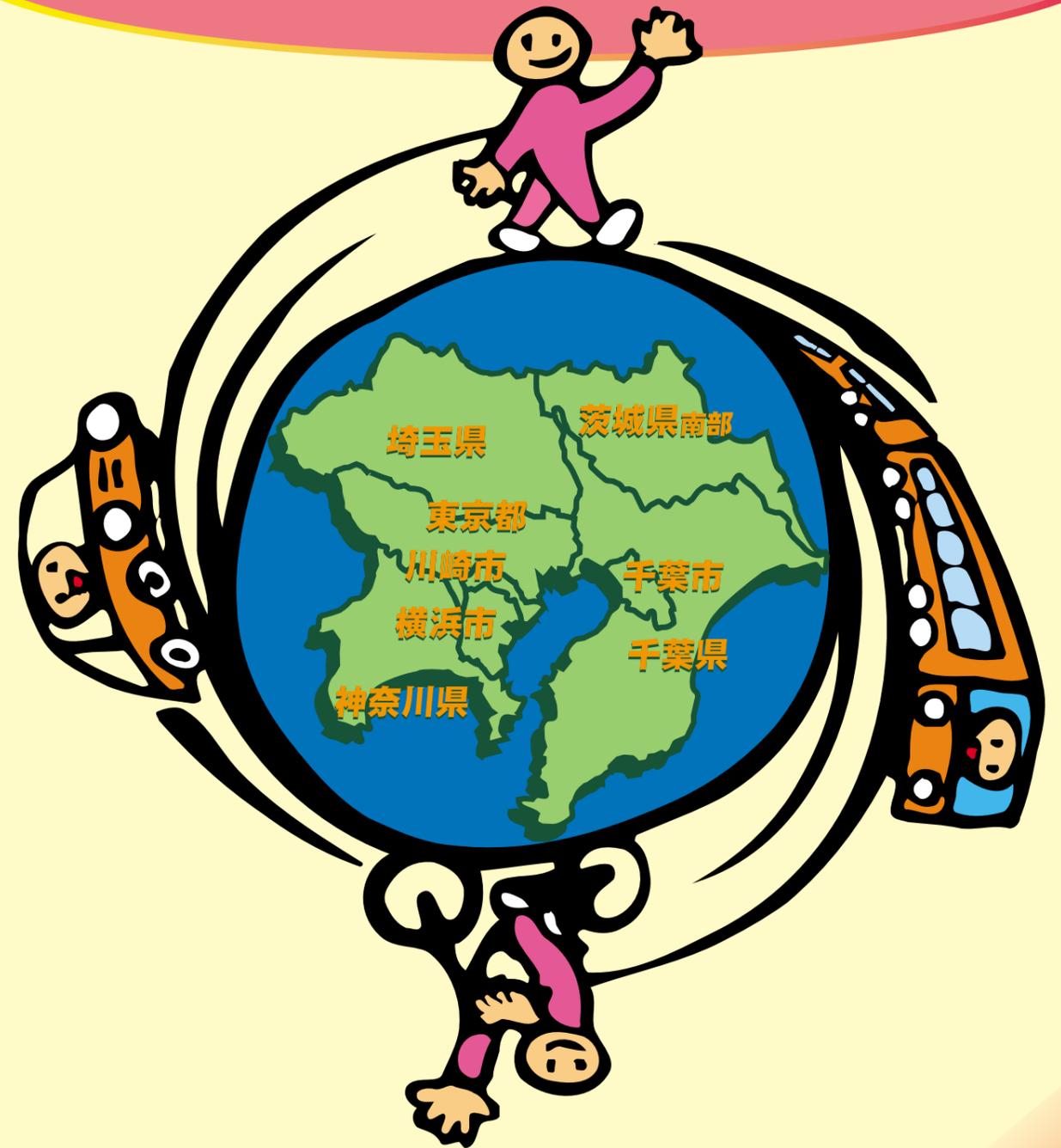


東京としけん 特別号
交通だより Vol.2

第4回(平成10年調査)

東京都市圏パーソントリップ調査

人の動きからみる東京都市圏のいま



アンケートを添付

みなさんのご意見をお聞かせ
いただくアンケートを添付して
います。
ぜひ、みなさんのご意見を!

平成11年11月
東京都市圏交通計画協議会

はじめに

東京都市圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県及び茨城県南部)は、そこに住む約3,400万人の人々の生活や活動の場であるとともに、我が国の政治、経済、文化の中核的な役割を果たしている世界最大の都市圏です。

東京都市圏における人々の動きは、都県を越えて広域に及んでおり、人々の多彩な活動を支える交通のあり方は、都市圏全体を見据えた広域的な課題として検討していく必要があります。

このため、東京都市圏内の都県・政令指定都市及び関係機関において東京都市圏交通計画協議会を設置し、相互に協力・調整を行ってきました。

同協議会における活動としては、昭和43年に初めて大規模な交通実態調査(パーソントリップ調査)を行って以来、昭和53年に第2回目、昭和63年に第3回目の調査を実施し、広域的かつ総合的な観点から都市交通政策の検討をしてきました。また、調査結果は、各地域における交通問題解決に向けた有用な基礎データとして幅広く利用されてきたところです。

さらに、昨年10月には皆様のご協力を頂き、第4回目となる大規模な交通実態調査(パーソントリップ調査)を実施し、この度、調査結果の概要をとりまとめました。

21世紀を目前にし、都市交通を取り巻く諸情勢は大きな転換期を迎えており、これまでにない様々な変化に直面しております。東京都市圏交通計画協議会では、今後、平成12年度にかけて、実態調査結果を踏まえ、変化に対応した総合的な都市交通体系のあり方を検討していくこととしています。また、検討に際しては、広く東京都市圏にお住まいの皆様のご意見を伺いたいと考えております。

このパンフレットが、身近な交通問題を考える際に、少しでも皆様のお役に立てば幸いです。

平成11年11月

目次

はじめに	1
パーソントリップ調査の概要	2
東京都市圏の概要	3
くらしと交通	9
通勤の実態	11
買い物や遊びでの移動の実態	15
高齢者の外出・移動の変化	17
環境と交通の関係	19
交通問題のまとめ	21
これからの検討の進め方	23
みなさんのご意見をお聞きかせ下さい (アンケート：交通に関する意識調査)	

調査の目的

- ・パーソントリップとは、「人(パーソン)の動き(トリップ)」を意味します。
- ・パーソントリップ調査は、「どのような人が」「いつ」「何の目的で」「どこから」「どこへ」「どのような交通手段で」動いたかについて調査し、1日のすべての動きを捉えるものです。
- ・この調査データをもとに、都市圏の交通の実態を総合的に把握・分析し、都市圏の望ましい都市交通体系のあり方を検討します。

調査の圏域

- ・東京都市圏のパーソントリップ調査は、下の図の地域(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県南部)を調査の対象圏域としています。



調査の対象者

- ・調査の対象者は、都市圏にお住まいの方のうちから無作為に選ばれた世帯の構成員(5歳以上)全員です。

調査の方法

- ・調査対象世帯に対し、調査員が訪問してアンケート調査票を渡し、再び訪問して回収する方法で実施しました。

回収の結果

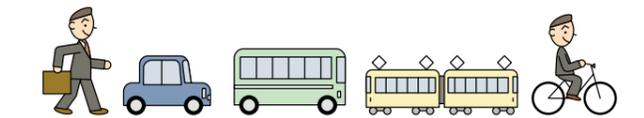
- ・今回の調査では、およそ88万人の方にご協力をいただき、調査票を回収しました。

パーソントリップ調査でわかること

どのような人がどこからどこへどのような目的で動いているか



どのような交通機関が利用されているか



調査の全体計画

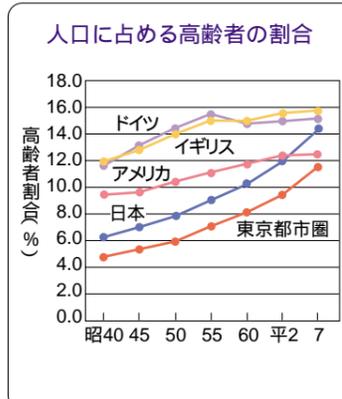
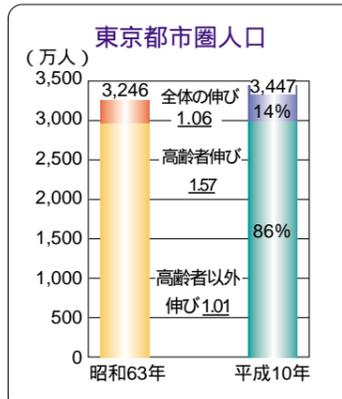
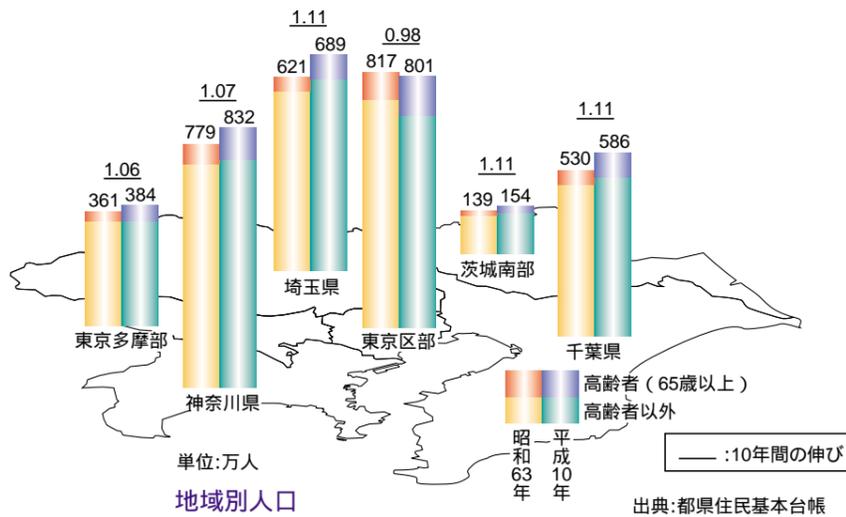
東京都市圏交通計画協議会では、今回の実態調査結果を踏まえ、平成12年度末を目途に将来の総合的な都市交通体系のあり方を検討し、提言していく予定です。調査の全体計画は以下の通りです。



「東京都市圏交通計画協議会」とは.....
わたしたち「東京都市圏交通計画協議会」は、昭和43年に第1回のパーソントリップ調査の実施に向けて東京都市圏交通計画委員会として発足し、昭和56年に東京都市圏の総合的な都市交通計画の推進に資することを目的として常設組織に改組され、現在に至っています。構成団体は、建設省、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、都市基盤整備公団、日本道路公団、首都高速道路公団です。

東京都市圏の概要

東京都市圏の人口



東京都市圏では約3,400万人の人たちが住んでおり、過去10年間で200万人以上の増加がみられます。なかでも埼玉県、千葉県及び茨城南部で人口の伸びが大きくなっています。

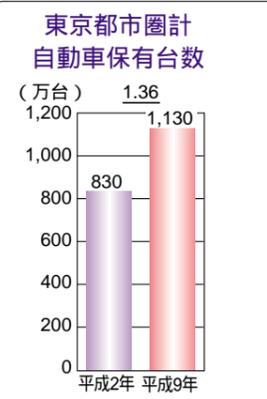
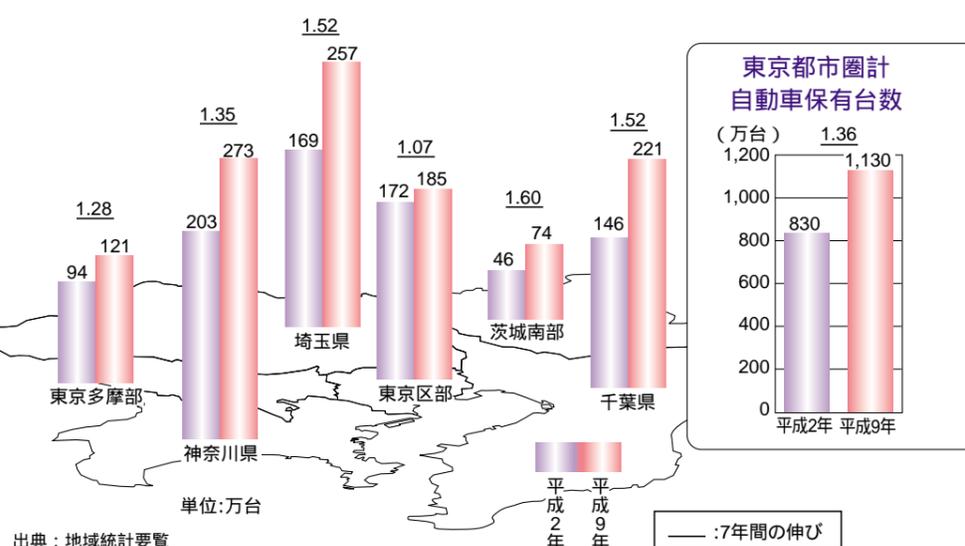
我が国は世界でもまれにみる急速な高齢化が進んでおり、東京都市圏でも高齢者（65歳以上）が過去10年間（昭和63年から平成10年）で約60%増加し、人口の約14%を占めています。

出典：国勢調査World Population Prospects 1996 Revision・Demographic Yearbook
 旧ドイツは、昭和40年～平成2年は旧西ドイツ。平成7年は統一ドイツ。

東京都市圏の自動車保有台数

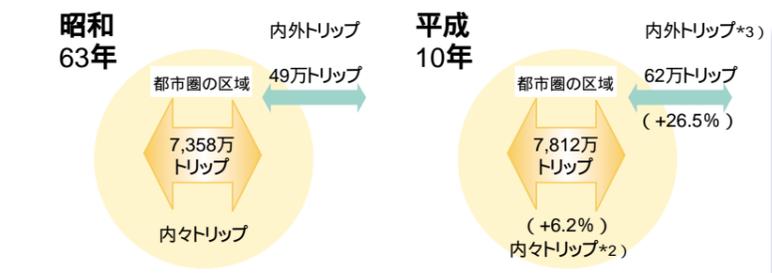
東京都市圏の自動車保有台数は約1,130万台で平成2年から平成9年の7年間で30%以上増加しています。

特に、埼玉県、千葉県、茨城南部で50%以上の増加となっています。



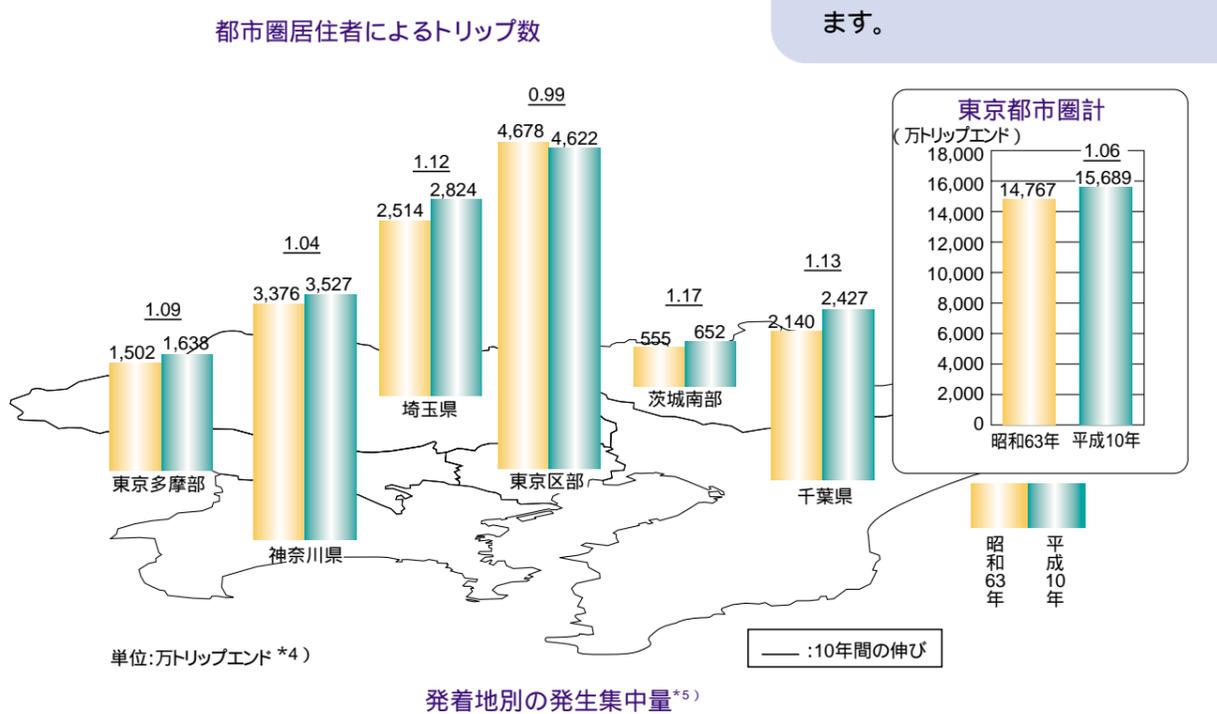
地域別自動車保有台数(乗用車・軽乗用車)

東京都市圏の1日の人の動き



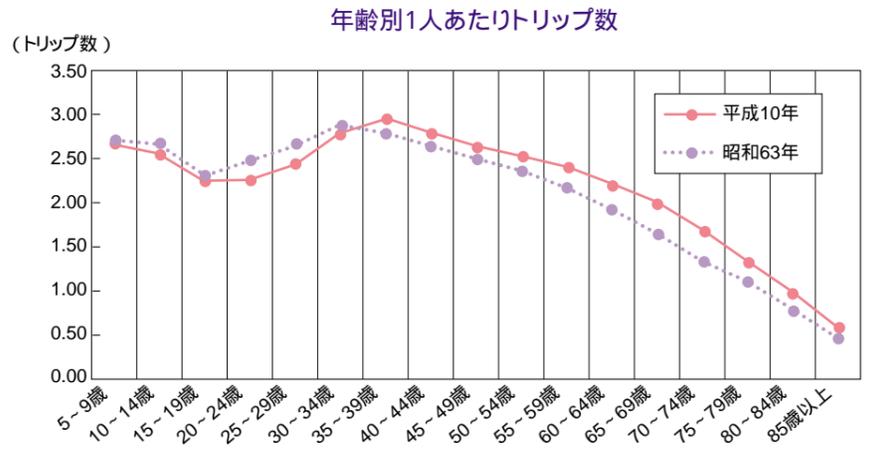
都市圏内居住者によるトリップ^{*1)}は7,874万トリップで、過去10年間で6.2%（467万トリップ）の増加となっています。

埼玉県、千葉県、茨城南部のトリップ数が、過去10年間で10%以上増加しています。



過去10年間で5歳から34歳までの1人あたりのトリップ数が減少しています。

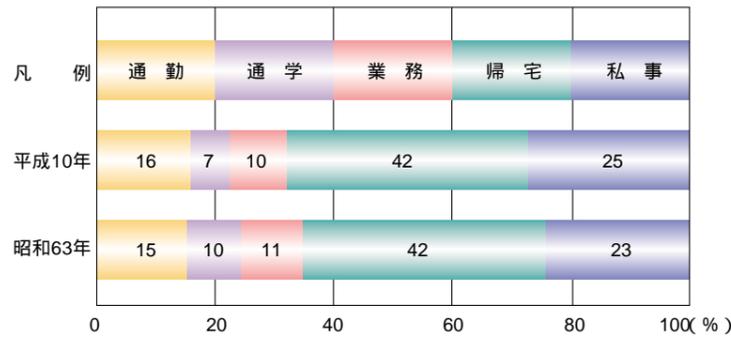
一方、35歳以上の年齢で1人あたりのトリップ数が増加していますが、特に高齢者層での増加幅が大きくなっています。



用語についての解説

- *1) トリップとは：人がある目的を持ってある地点からある地点へ移動する単位をトリップといい、1回の移動でいくつかの交通手段を乗り換えても1トリップと数えます。
- *2) 内々トリップとは：ある地域のなかに出発地と到着地を持つ交通をいいます。
- *3) 内外トリップとは：ある地域に出発地(又は到着地)があり、その地域以外に到着地(又は出発地)を持つ交通をいいます。
- *4) トリップエンドとは：1人1人の移動を「トリップ」というのに対し、1つのトリップの出発側と到着側をそれぞれ「トリップエンド」といいます。
- *5) 発生集中量とは：ある地域内に出発地又は到着地を持つ人の移動の合計で、「トリップエンド」を集計したものをいいます。

交通の目的種類別の構成比



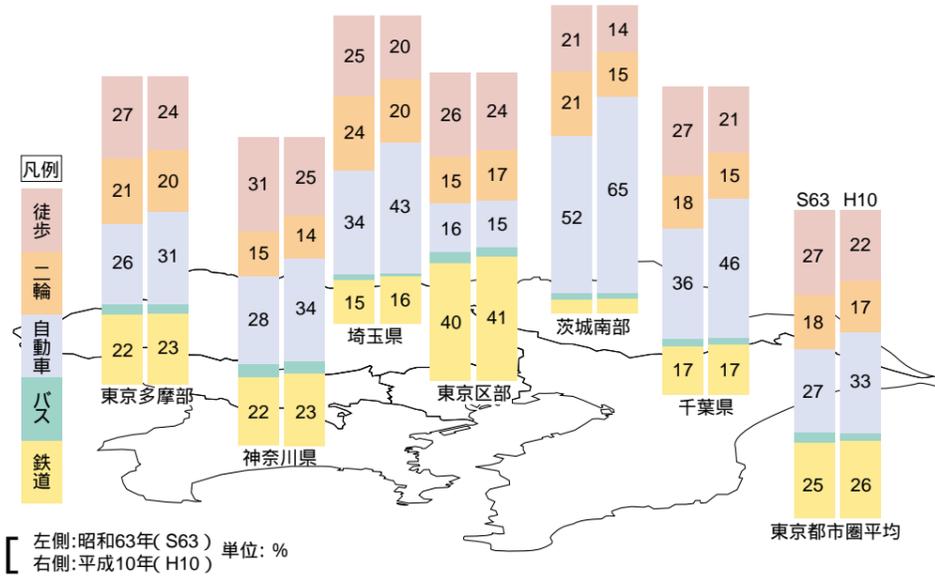
東京都市圏で移動する目的として、帰宅目的を除いて私事目的が多くなっています。

私事目的の割合は、過去10年間で2パーセント増加しています。

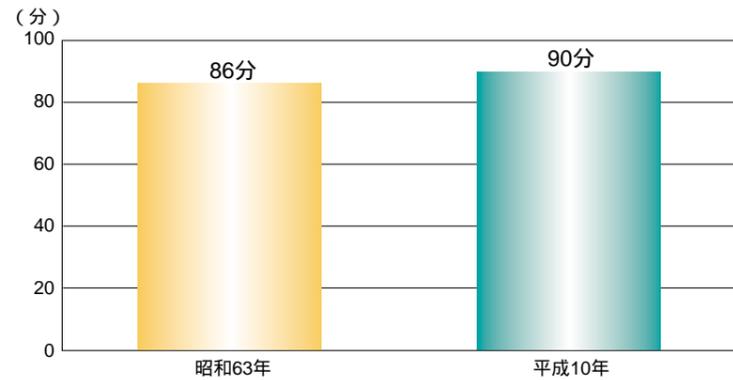
地域によって利用される代表交通手段は、異なっています。

東京区部では鉄道が、またその他地域では自動車が多く利用されています。

過去10年間で、東京区部の自動車利用割合が若干減少し、その他の地域で自動車利用割合が増加しています。



発着地別での利用する代表交通手段*6)の構成比



1人あたりの1日の移動時間

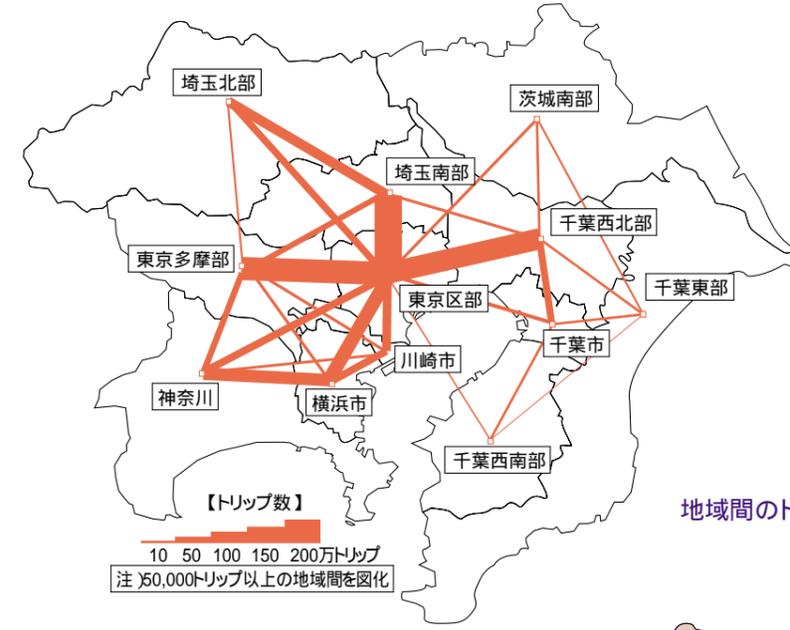
東京都市圏に住んでいる人の1人あたりの1日の移動時間は90分で、過去10年間で4分長くなっています。

注)移動時間: 1日のうちに行う全ての移動にかかる所要時間の合計。

用語についての解説

*6)代表交通手段とは:1つのトリップがいくつかの交通手段で成り立っているとき、このトリップで利用した主な交通手段を「代表交通手段」といいます。主な交通手段の集計上の優先順位は、鉄道 バス 自動車 二輪車 徒歩の順となっています。

地域間の交通量

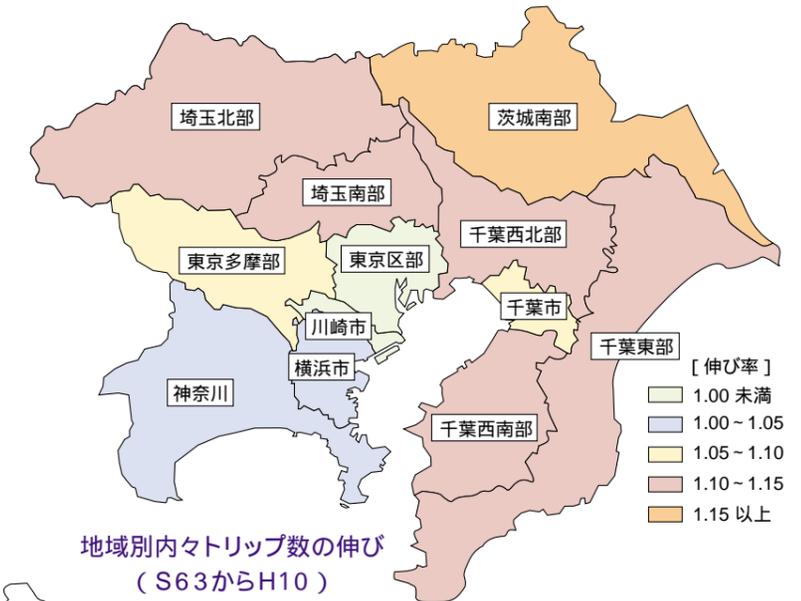


地域間のトリップ数(H10)

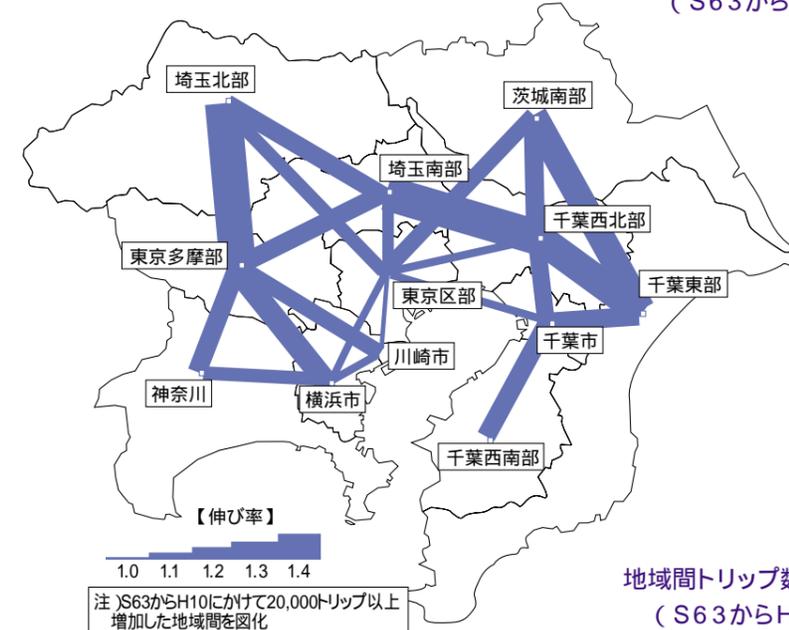
依然として東京区部に出発地または到着地を持つトリップが多く、中でも東京区部と埼玉南部、東京多摩部及び千葉西北部の間のトリップ数が多くなっています。

地域別内々交通量(その地域に出発地と到着地を持つ交通)の伸びは、東京区部や川崎市で減少しています。

一方、茨城南部、埼玉県及び千葉市を除く千葉県では、過去10年間で10%以上の交通量の増加が見られます。



地域別内々トリップ数の伸び(S63からH10)



地域間トリップ数の伸び(S63からH10)

過去10年間で、東京区部以外の地域相互間のトリップ数の伸びが大きくなっています。

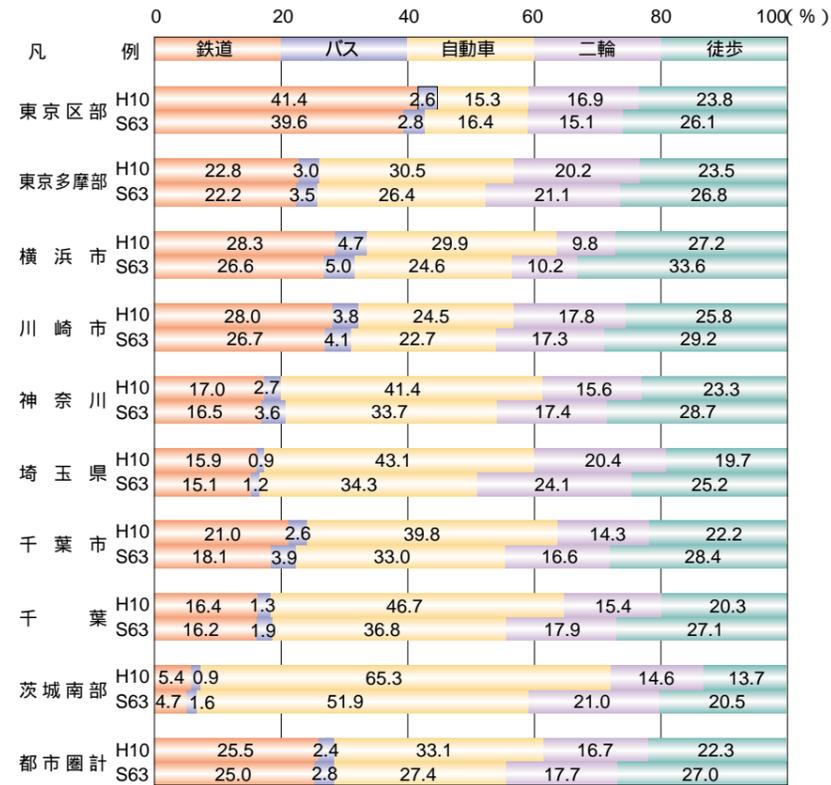
特に、埼玉北部と東京多摩部間、埼玉南部と千葉西北部間及び千葉東部と茨城南部間でトリップ数の高い伸び率を示しています。

利用する代表交通手段

利用する代表交通手段割合の変化は、過去10年間で**鉄道利用の割合については微増、自動車利用の割合では約6パーセントの増加**、それ以外の手段（バス、二輪車、徒歩）では減少となっています。

東京区部、横浜市、及び川崎市では鉄道利用の割合が最も高く、その他の地域では自動車利用割合が最も高くなっています。

千葉(千葉市を除く)及び茨城南部で自動車利用の割合が約10パーセント増加しているのに対して、東京区部では若干減少しています。



地域別にみた代表交通手段の構成比変化

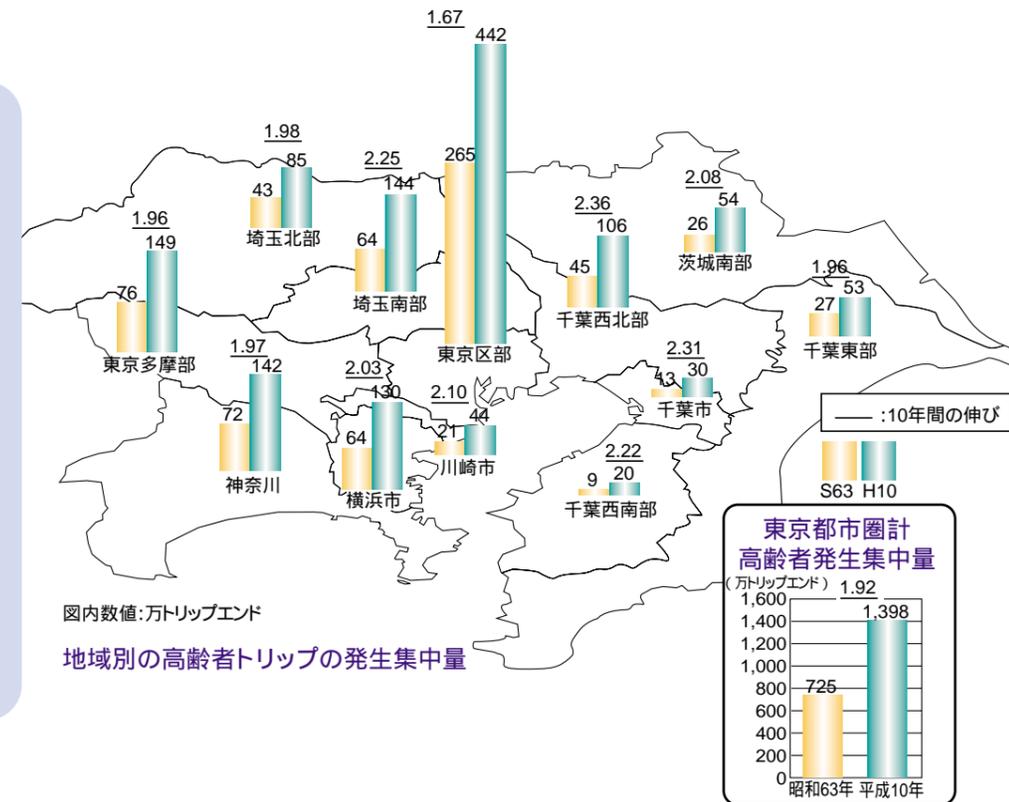
注: 神奈川県: 横浜市及び川崎市を除いた神奈川県。
千葉: 千葉市を除いた千葉県。

高齢者トリップ特性

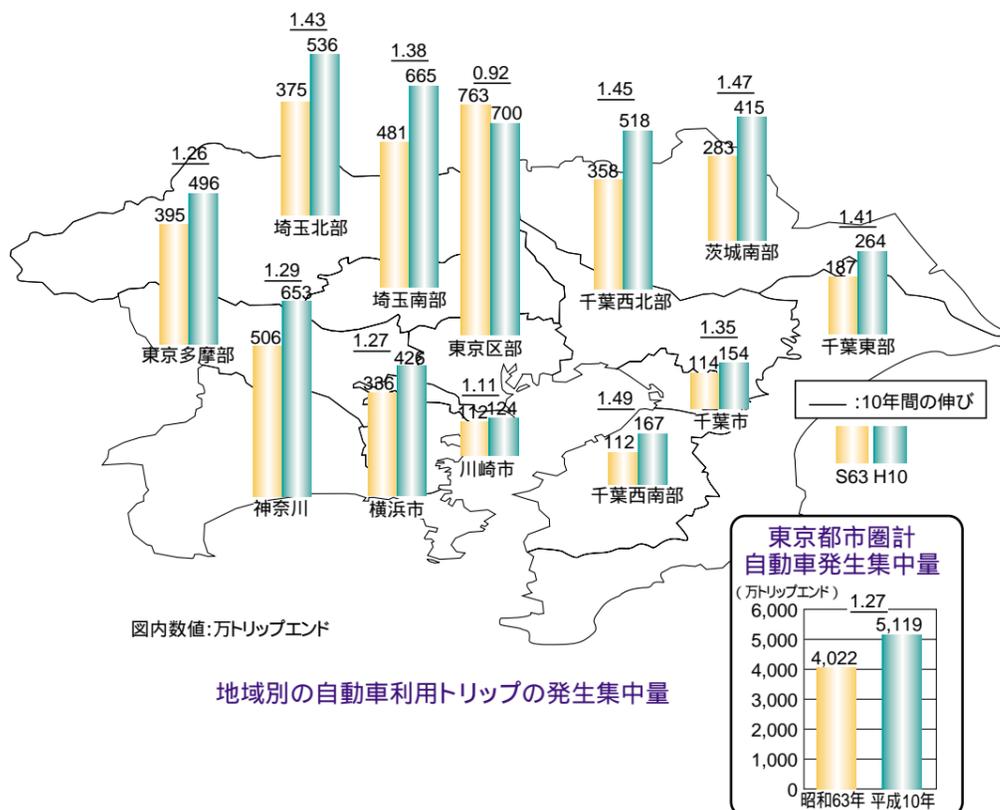
注)ここでの高齢者は年齢65歳以上の方をいいます。

東京都市圏の高齢者トリップの発生集中量は約1,400万トリップエンドで、過去10年間では、**高齢者人口の伸び(1.6倍)を上回る約1.9倍**となっています。

特に、東京区部は442万トリップエンドで、東京都市圏全体の約30パーセントを占めています。



地域別自動車利用トリップの発生集中量

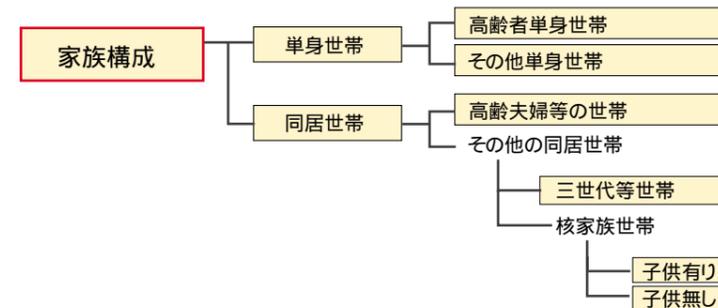


東京都市圏の自動車利用の発生集中量の伸びは**1.27倍**で全手段計のトリップ数の伸びに比べて大きくなっています。

特に、埼玉県では交通量の増加が著しく、過去10年間で345万トリップエンド増加しています。

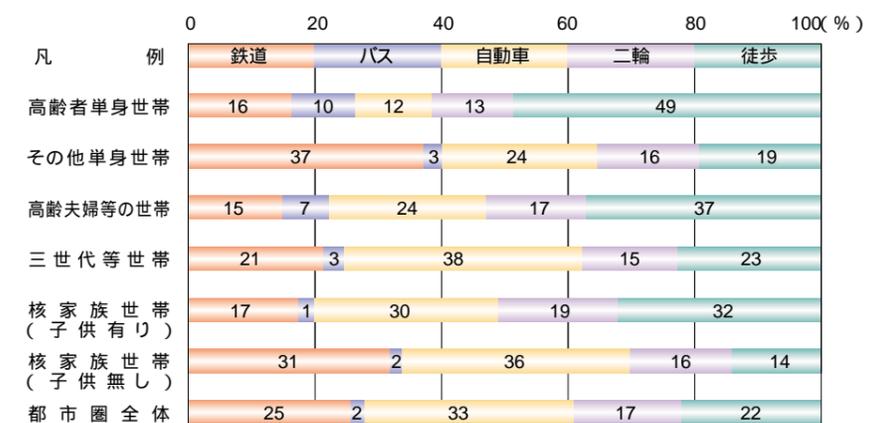
増加率では、**茨城南部及び千葉県(全県)で大きく、茨城南部の自動車トリップの伸びは1.47倍、千葉県では1.43倍**となっています。

世帯構成別にみた代表交通手段



高齢者単身世帯では、**都市圏全体に対して、バス利用と徒歩の割合が高くなっています。一方、自動車利用の割合は低くなっています。**

核家族世帯でも、**子供を持つ世帯では徒歩の割合が高く、子供がいない世帯では自動車利用の割合が高くなっています。**

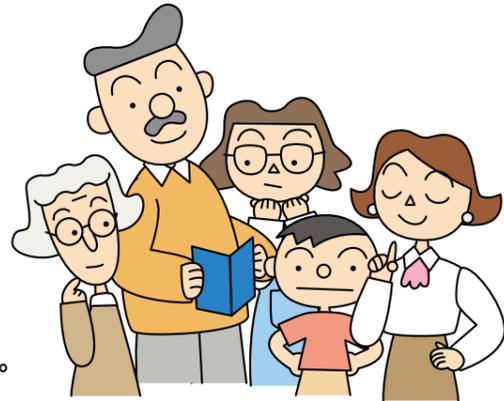


世帯構成別にみた代表交通手段の構成比(H10)

いっしょに考えてみませんか? くらしと交通に関わる

こんなこと あんなこと

日々のくらしと交通に関わる疑問や問題。
例えば「としけん」一家はどんな意見をもっているのでしょうか…。

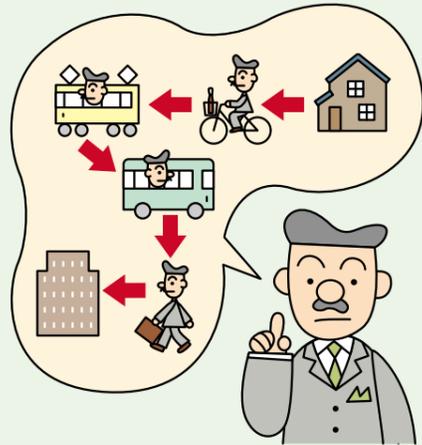


「としけん」一家

都内の会社に勤務するお父さん(としけん とき夫さん)の意見

「毎日の通勤時間、
もう少し短くならないかな？」

この年になると、通勤時間が長いのがつらいんだよね。
もう少し、通勤時間が短くならないかな。



友達とよく遊びに出かけるお姉さん(としけん さい子さん)の意見

「もっと、時間をかけずに
遊びに行けないかしら？」

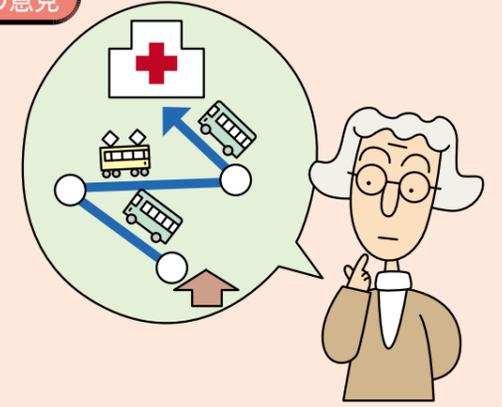
海水浴シーズンに湘南に行くにも時間がかかるし、休みを利用して旅行しようと思っても、空港まで行くのが一苦労だわ。もっと便利にならないかしら。



ふだん一人で外出しているおばあちゃん(としけん いば美さん)の意見

「高齢者の外出についても、
考えているのかしら？」

わたしたち高齢者は病院に行くのも大変。もう少し、
高齢者の外出のことも考えてもらえないかしら。



地球環境の問題に興味を持ちはじめた弟(としけん ちば夫くん)の意見

「環境問題など、僕らが大人になる頃のことまで
考えているのかな？」

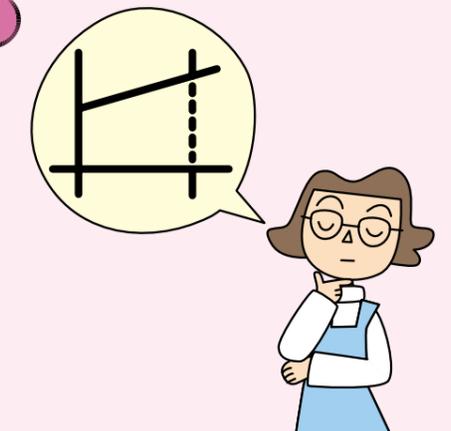
学校の授業で地球の温暖化について習ったんだ。この
まま、みんながどんどん車を使い続けると、地球の環境
に大きな影響を与えるような気がするんだけど。



地域の問題に関心の高いお母さん(としけん かな子さん)の意見

「道路などの計画って
どのように決まっているのかしら？」

お友達が、自分の家の近くに幹線道路ができると言っ
ていたけど、道路などの計画ってどのように決まってい
るのかしら。



わたしは交通博士。ふむふむ!! としけん一家は「くらしと交通」が密接に関係していることに気がついているようじゃな!!
それでは、このような身近な交通テーマ・問題について現在の状況を明らかにしていくことにしよう!!!



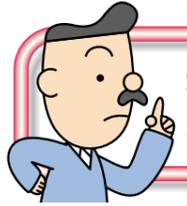
交通博士



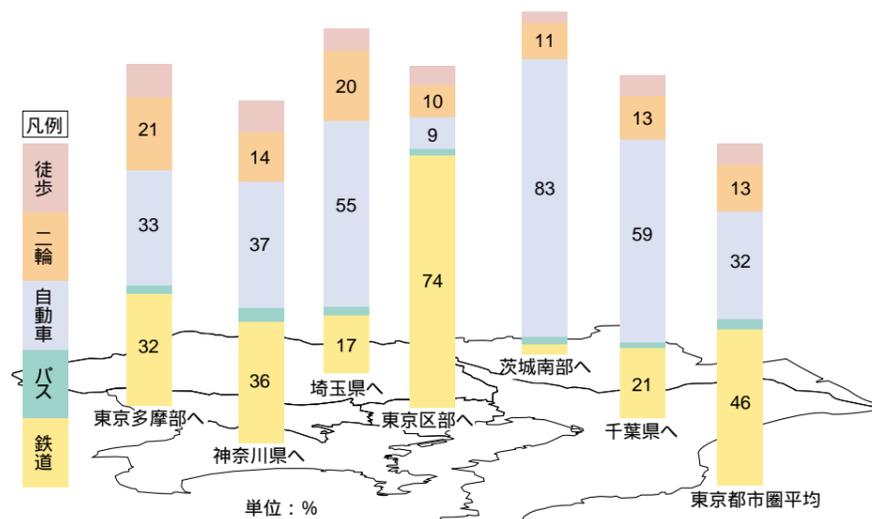
都内の会社に勤務するお父さん(としけん とき夫さん)の疑問
「通勤の実態はどうなっているのかな？」

東京都市圏の通勤の状況を見てみましょう!

通勤にはパートやアルバイトへ行くことも含まれます。



わたしは主に鉄道を使って会社に行くけど、みんなは何を使って行ってるのかな?



東京区部に勤めに行くときは鉄道利用が多いが、自動車を利用する人も地域によってけっこういるのだ!!

東京区部に通勤する人の7割以上が鉄道を利用していますが、埼玉県及び千葉県に通勤している人は半分以上が自動車を利用しています。

茨城南部に通勤している人は8割以上が自動車を利用しています。



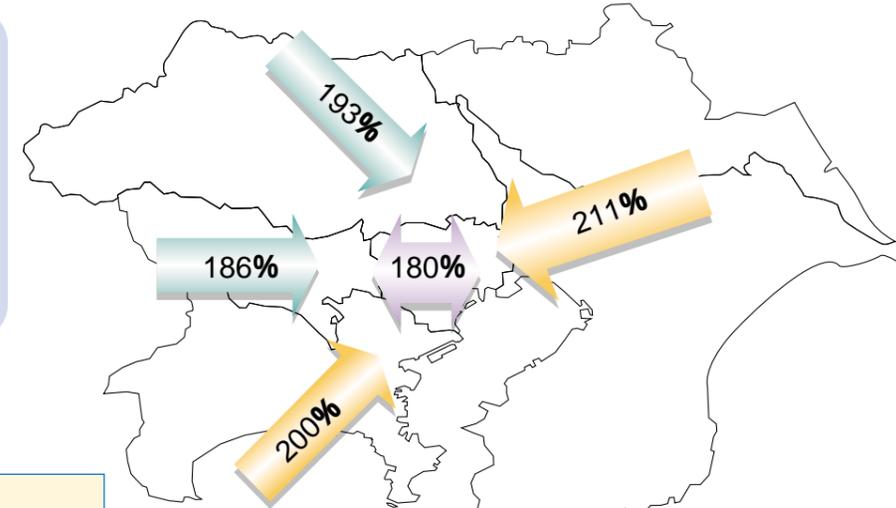
東京区部への鉄道路線は、依然として混雑率が200%をこえる路線があるぞ!!

いったい鉄道の混雑状況ってどうなってるんだろう?



東京区部へ向かう鉄道路線の中で、千葉・茨城南部方面からの鉄道路線ではピーク時に混雑率が200%をこえる路線があります。

神奈川方面や埼玉方面からの路線でも定員の約2倍の人が乗車しています。



方面別鉄道路線の混雑率(H10)

資料:平成10年版都市交通年報より作成
 沿各鉄道路線の最も混んでいる時間の輸送量と輸送力を合計して算出している。

鉄道混雑率

- | 【混雑率】 | 【車内の状況】 |
|-------|--|
| ・100% | 定員乗車(座席に着くか、吊革につかまるか、ドア付近の柱につかまることができ、ゆったりと乗車できる。) |
| ・150% | 肩がふれあう程度で新聞は楽に読める。 |
| ・180% | 体がふれあう程度で新聞は読める。 |
| ・200% | 体がふれあい相当圧迫感がある。週刊誌程度なら何とか読める。 |
| ・250% | 電車がゆれるたびに体が斜めになって身動きができず、手も動かさない。 |

通勤先への代表交通手段の構成比(H10)

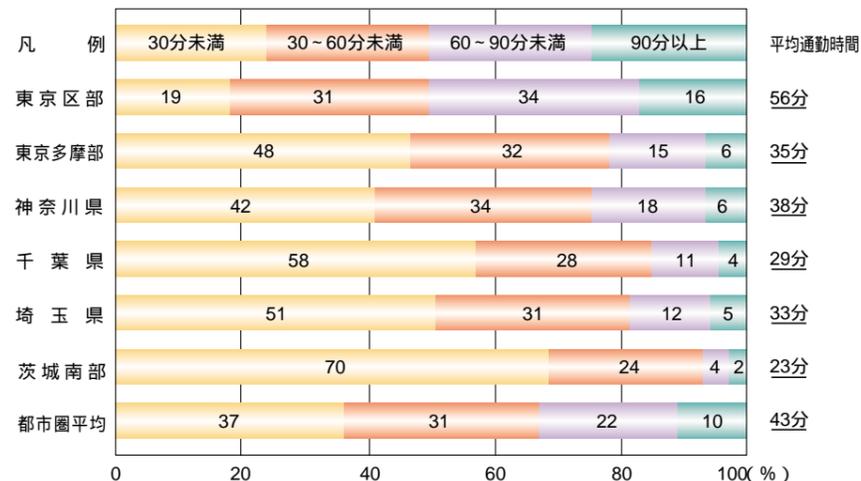


東京区部への通勤時間は、東京都市圏のなかでもかなり長くなっているのだ!!

わたしの通勤時間は60分ぐらいだけど、みんなの通勤時間ってどのぐらいなの?



通勤先の地域別通勤時間構成比(H10)



東京都市圏の平均通勤時間は43分で、東京区部への通勤時間はそれより長い56分となっています。東京区部の通勤時間は東京都市圏の他の地域に比べて20~30分程度長くなっています。

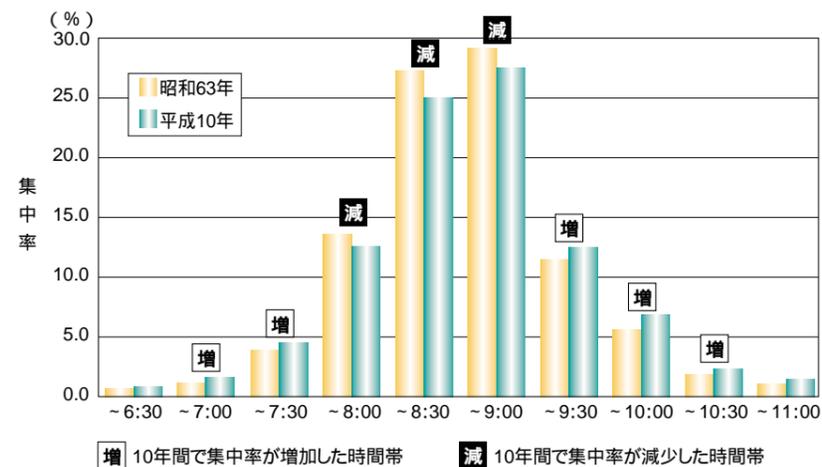


毎朝の鉄道の通勤ラッシュはすごいけれど、いったいどれくらいの人々が集中しているの?



鉄道を利用して通勤する人の半分以上が、朝のピーク1時間に集中しているのだ!!

鉄道利用者の通勤先への着時間帯別集中度(通勤目的)



東京都市圏の鉄道を利用した通勤トリップの約半数が朝8時から9時までの1時間の間に勤務先に到着しています。

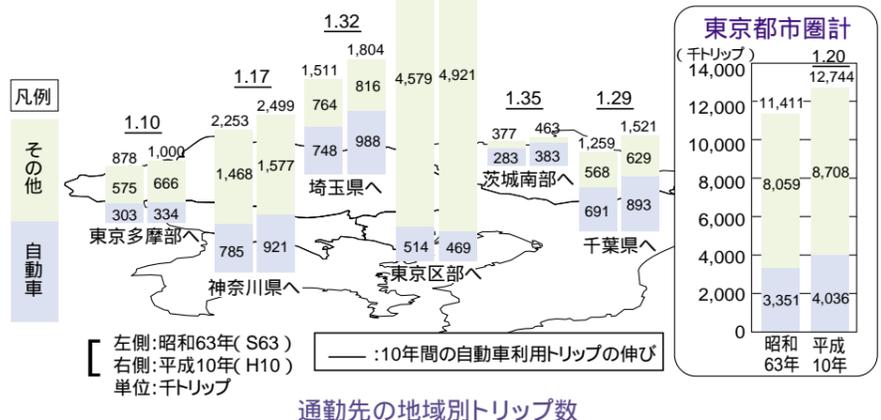
ただし、過去10年間でこの割合は減少しており、7時30分以前や9時以降の時間帯で増加しています。

自動車を使っている人って、
どんな通勤をしているのだろう？

東京区部に自動車通勤している人は減っているが、埼玉県や千葉県ではずいぶん増えているのだ!!

毎朝通勤するとき、自宅から最寄りの駅までバスで行っているけど、みんなはどんな交通手段で駅まで行っているのかな？

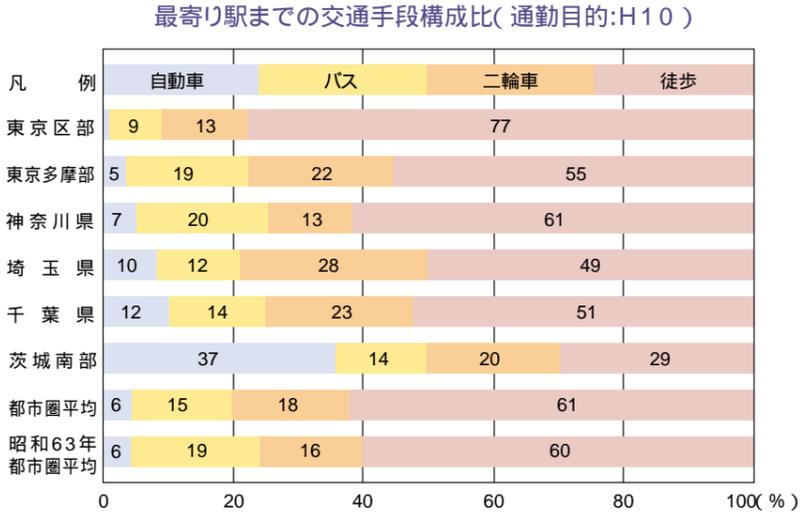
徒歩で駅まで行く人が最も多くなっているぞ!!



東京区部への自動車を利用した通勤目的のトリップ数は減少しています。しかし、埼玉県や千葉県への自動車を利用した通勤トリップは大きく増加しています。

東京都市圏の自動車を利用した通勤トリップの約半数が朝7時30分から8時30分までの1時間で勤務先に到着しています。

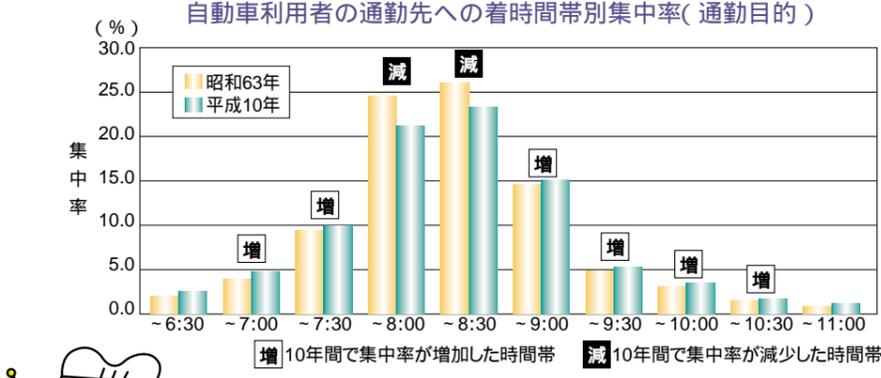
ただし、過去10年間でこの割合は減少しており、7時30分以前や8時30分以降の時間帯で増加しています。



過去10年間でバスを利用して駅まで行く人の割合が減少しています。

茨城南部では、通勤目的で鉄道を利用するトリップの4割近くが駅まで自動車を利用しています。

対照的に東京区部では7割以上が徒歩で駅まで行っています。



通勤するときの最寄り駅までの時間は、利用する交通手段によって違いがあるのかな？

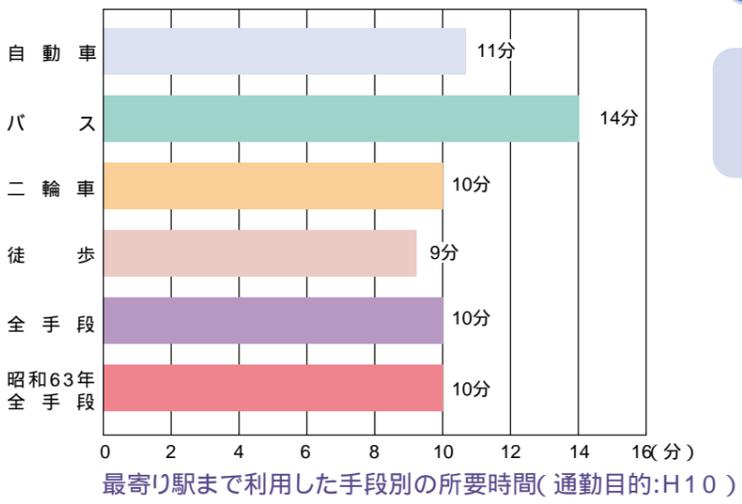
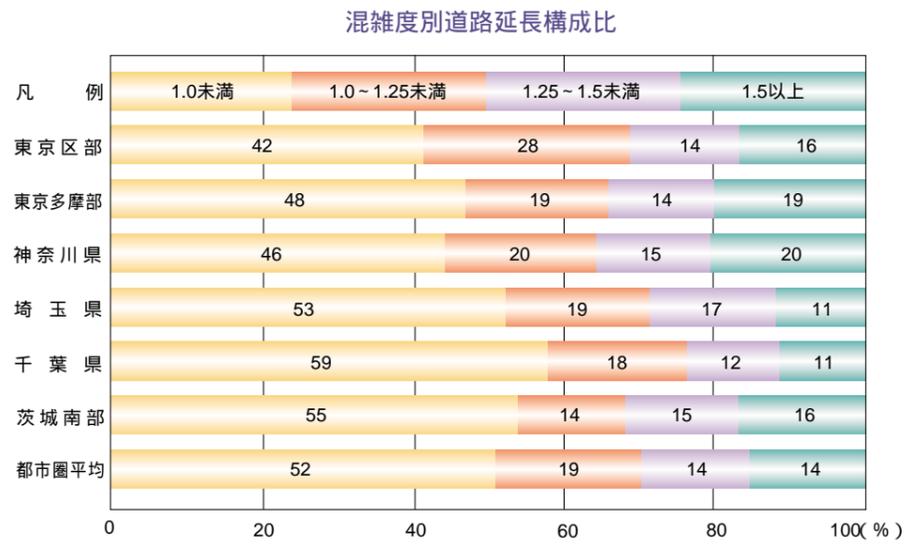
駅までの移動時間は、バスや自動車を利用している人は少し長くなっているのだ!!

約半分の道路で渋滞がみられるのだ!!

鉄道の混雑と同じように、自動車の渋滞ってどうなっているのかな？

混雑度が1.5以上(著しい渋滞)の道路が全ての地域で10%を越えています。

混雑度1.0以上(ピーク時に渋滞が見られる)の道路は、東京区部が6割近くもあり、神奈川県や東京多摩部でも5割程度あります。



最寄り駅までの所要時間は、平均で約10分となっています。

道路混雑度

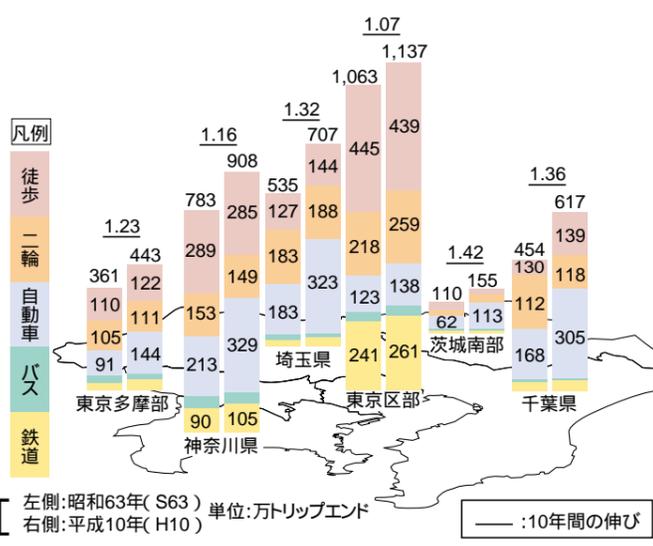
【混雑度】
 ・1.0未満
 ・1.00~1.25
 ・1.25~1.75
 ・1.75以上

【道路の状況】
 昼間12時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間が1~2時間(ピーク時間)ある。何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
 ・1.25~1.75
 ピーク時はもとより、ピーク時間を中心として渋滞する時間帯が加速的に増加する可能性の高い状態。ピーク時のみの混雑から日中の連続的混雑への過渡状態と考えられる。
 ・1.75以上
 慢性的な混雑状態を呈する。

友達とよく遊びに出かけるお姉さん(としけん さい子さん)の疑問
「買い物や遊びでの移動の実態はどうなっているのかしら？」

東京都市圏の私事目的での交通の状況を見てみましょう!
 私事目的: 買い物や娯楽・レジャーなど仕事や学校以外の個人的な活動

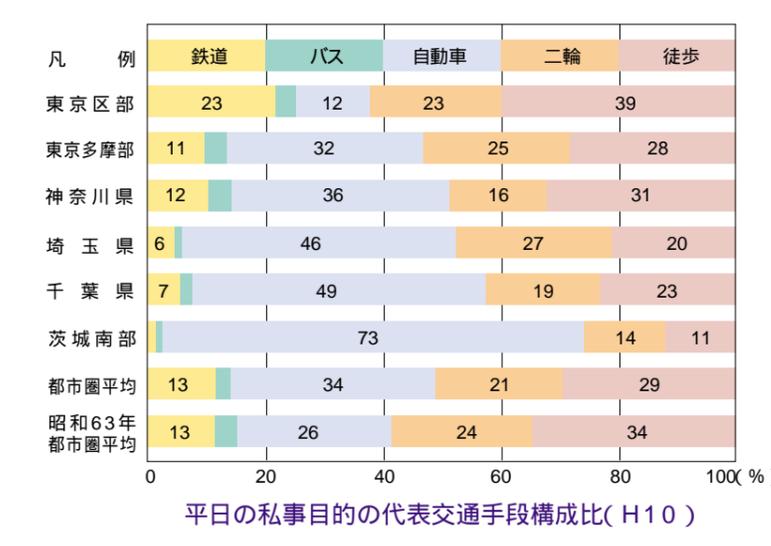
平日1日の私事目的の交通はどうなっているのかしら?



私事目的の交通量は都市圏全体で過去10年間に1.2倍に増えているのだ!!

私事目的の交通量は過去10年間で20パーセントと高い増加を示しています。
 手段別にみると、自動車利用の交通量が増加しています。
 地域別にみると、茨城南部、千葉県及び埼玉県で高い伸びとなっています。

平日の私事目的では、みんなどんな交通機関を利用しているのかしら?

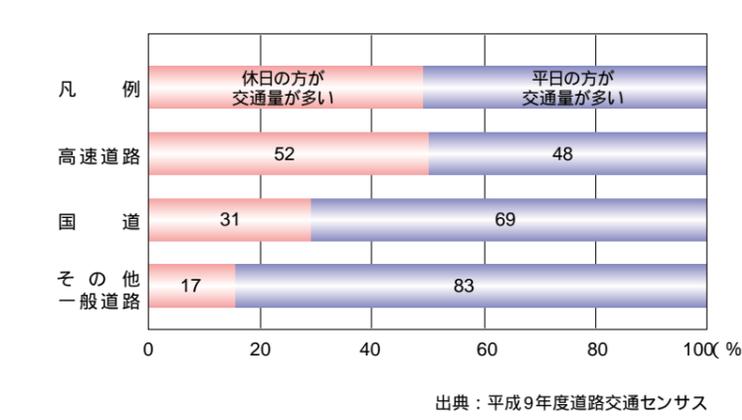


東京都市圏では、私事目的で移動するとき、自動車が最も多く利用されておるのだ!!

東京区部では私事目的の交通の4割近くが徒歩になっています。
 それ以外の地域では、自動車利用の割合が最も高くなっています。

休日には友だちと郊外にドライブに行くけど、平日に比べて休日の自動車交通ってどうなっているの?

道路の種類別みた平日・休日交通量の比較(道路延長構成比)



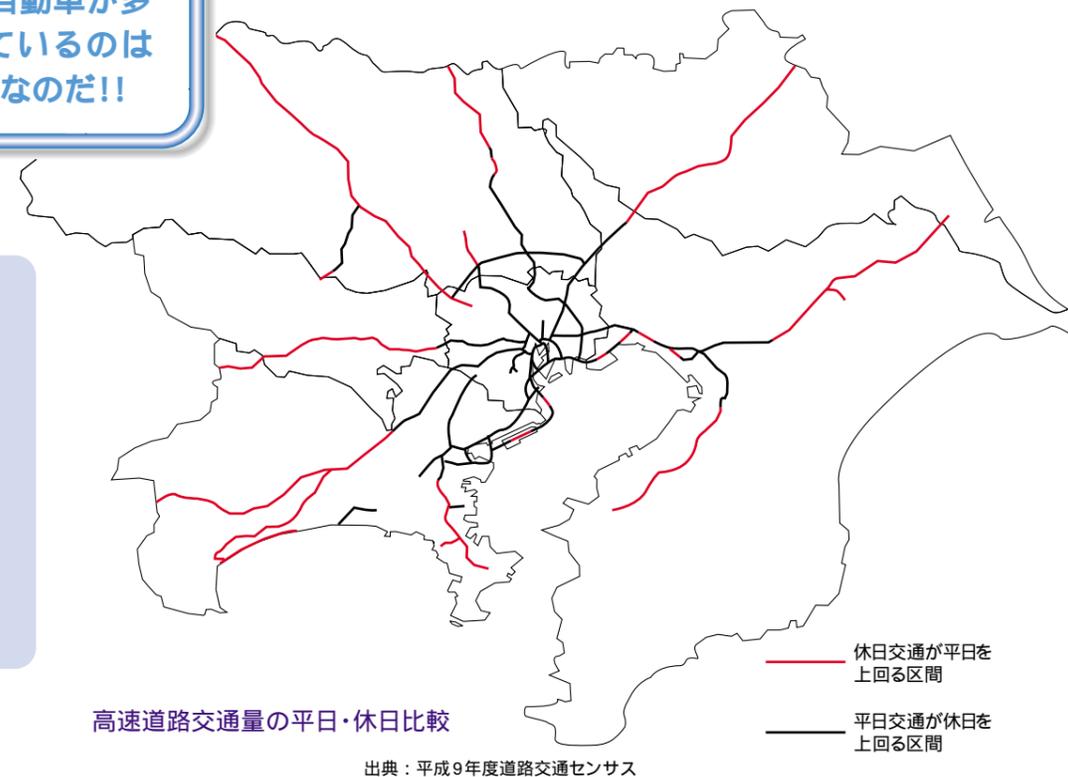
休日の高速道路の約半数は、平日に比べると自動車が多く走っているのだ!!

国道では約7割、その他一般道路では8割以上の道路で平日の交通量が多く、高速道路の約半数で、休日の交通量が多くなっています。

約半数の高速道路は、平日に比べ休日の交通量が多いようだけれども、いったい、どのあたりの高速道路の休日交通量が多くなっているの?

休日に自動車が多くなっているのは郊外の高速道路なのだ!!

郊外に向かう高速道路では、平日より休日に多くの自動車走っています。
 都心の高速道路では、休日より平日に多くの自動車走っています。





ふだん1人で外出しているおばあちゃん(としけん いば美さん)の疑問
「高齢者の外出・移動はどう変化しているのかしら？」

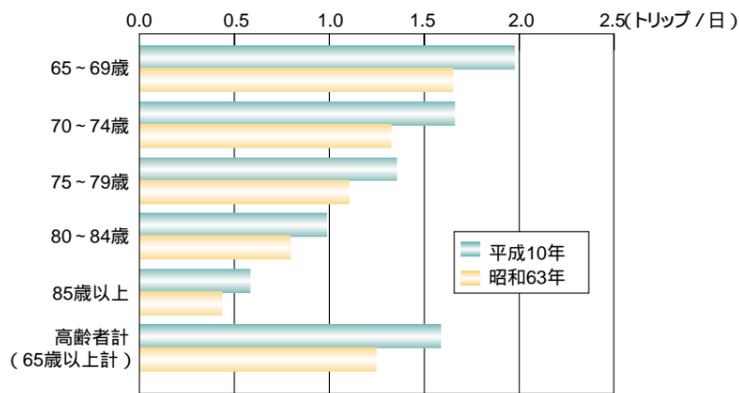
東京都市圏の高齢者の移動状況を見てみましょう!

ここでの“高齢者”とは、年齢65才以上の人をいいます。



**10年前の高齢者と今の私たち
ではどんな違いがあるの?**

高齢者の1人あたりのトリップ数



**今の高齢者の人たちは、
10年前に比べてずいぶん活発に移動しておるぞ!!**



高齢者の1人あたりのトリップ数は、
10年前に比べて増加しています。

特に、65歳から80歳までは、10年前の5歳若い層の1人あたりトリップ数とほぼ同じとなっています。

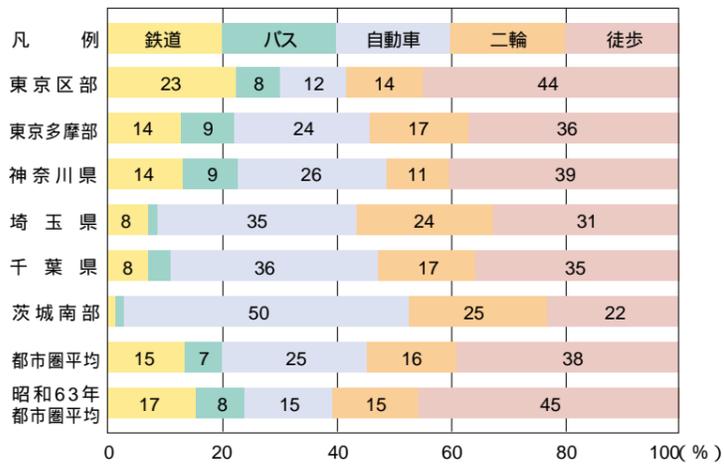


**高齢者の半分は
徒歩での移動を
行っており、最近自動車
を利用する高齢者が増えて
おるぞ!!**

高齢者の多くは徒歩で移動しますが、埼玉県、千葉県及び茨城南部では自動車を利用する高齢者が多くなっています。

また、過去10年間で徒歩の割合が減少し、自動車を利用する割合が高くなっています。

高齢者の人たちはどんな交通機関を使って外出しているのかしら?

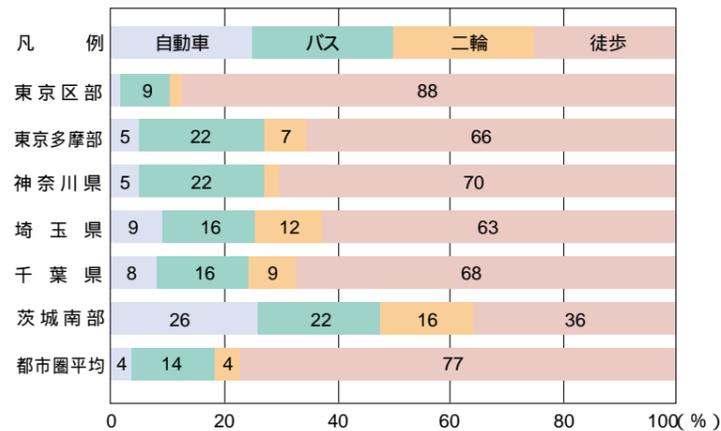


高齢者が利用する代表交通手段構成比(H10)



**わたしたちのような高齢者は、
どんな交通機関を使って駅まで行っているの?**

高齢者の駅までの交通手段構成比(H10)



**鉄道を利用する
高齢者は主に徒歩で駅まで
行っており、バスで駅まで
行く人も多いぞ!!**

東京都市圏では、高齢者の約8割が徒歩で駅まで行っています。また、東京区部ではそれより高い9割近くが徒歩で駅まで行っています。

徒歩以外の高齢者の交通手段として、茨城南部では自動車、東京多摩部及び神奈川県ではバスが利用されています。

**わたしたち高齢者にとって、いくつかの交通機関を利用して移動するのは非常に大変なのよね。
だけど、そのような人たちって、結構いるのかしら?**

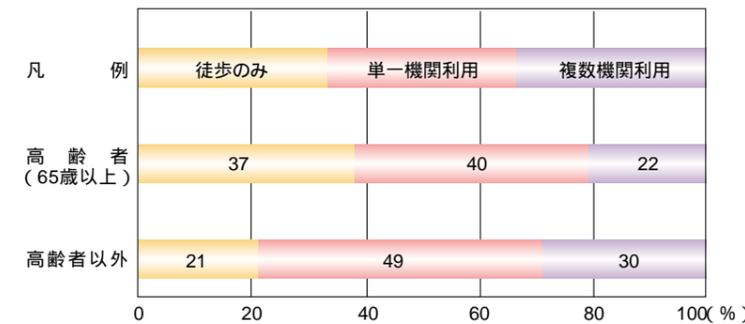


2割以上の高齢者が、複数の交通機関を乗り継いで移動しておるぞ!!

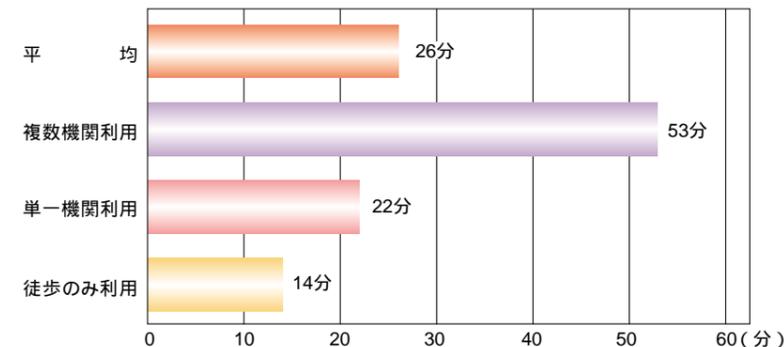
高齢者の移動は約4割が徒歩によるものですが、複数の交通機関を乗り継いで利用する人も2割以上います。

複数の交通機関を乗り継いで利用する高齢者の移動時間は平均53分と長くなっています。

高齢者の交通機関の利用状況(H10)



高齢者が利用する交通機関別みた移動時間(H10)





地球環境の問題に興味を持ちはじめた弟(としけん ちば夫くん)の疑問

「環境は交通とどんな関係にあるのかな？」

最近の環境をとりまく話題についてみてみましょう!



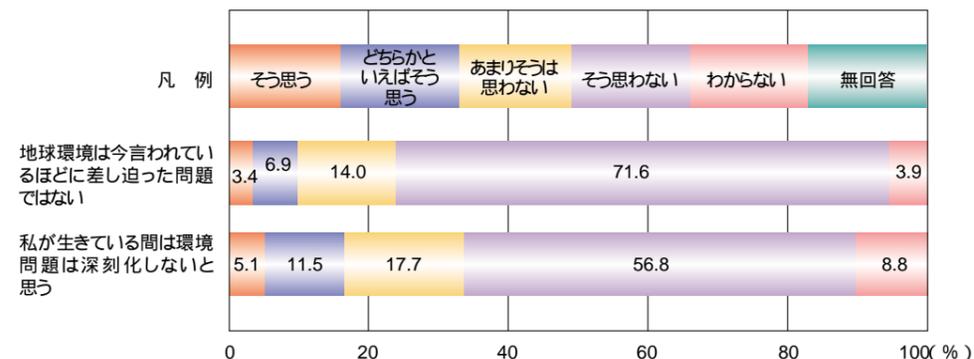
みんなは環境に対して
どんな意見を持っているのかな？



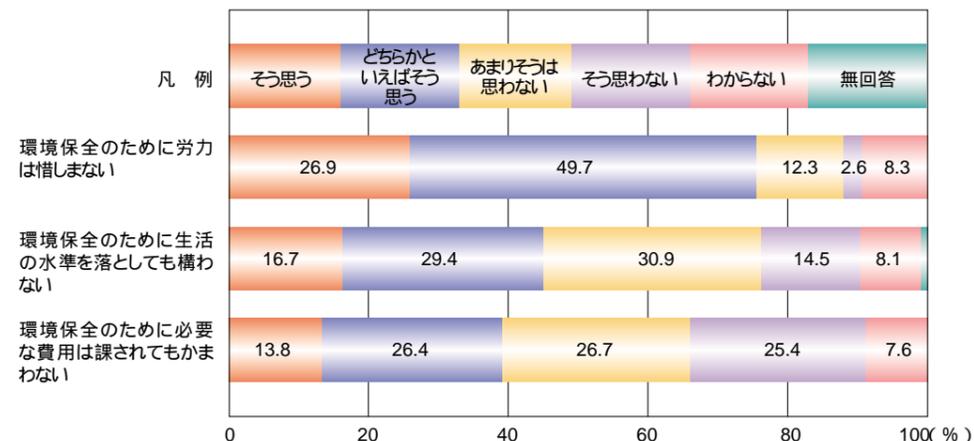
地球環境問題に対する国民の意識は高いのだ!!

地球環境問題に対する国民の意識

地球環境問題に対する意識



地球環境問題に対する行動(コスト意識)



出典：平成11年度環境白書(環境庁)

「環境問題は今言われているほどに差し迫った問題ではない」、「私たちが生きている間は環境問題は深刻化しないと思う」という2つの考え方に対して、否定した人(「あまりそう思わない」、「そう思わない」と答えた人の合計)は、それぞれ85.6%、74.5%となっています。

その一方で、「環境保全のために労力は惜しまない」という考え方に対して賛成した人(「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計)は、76.6%と高くなっています。しかし、「環境保全のために生活の水準を落としても構わない」、「環境保全のために必要な費用は課されても構わない」という考え方に賛成した人は、それぞれ46.1%、40.2%にとどまっています。



自動車による窒素酸化物(NOx)の状況ってどうなっているの？

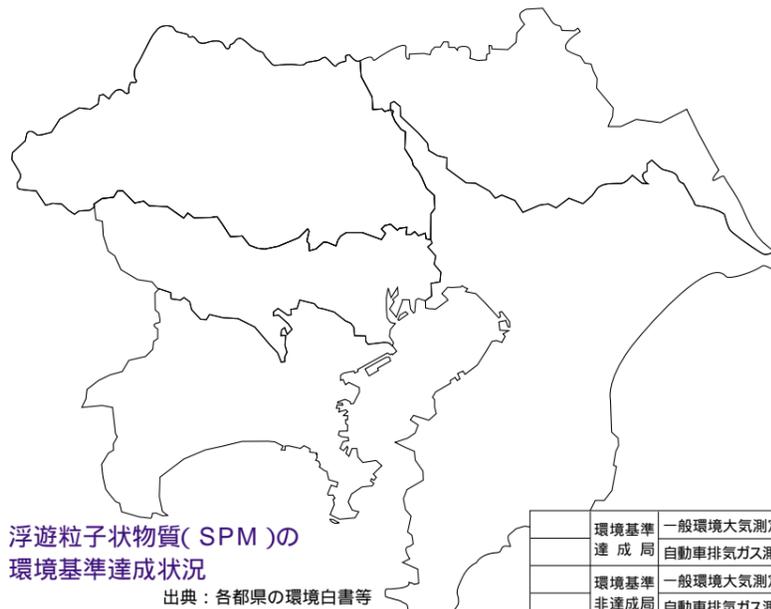


二酸化窒素(NO₂)の環境基準達成状況

出典：各都県の環境白書等



二酸化炭素や窒素酸化物以外に自動車による環境への影響ではどんなものがあるの？



浮遊粒子状物質(SPM)の環境基準達成状況

出典：各都県の環境白書等

用語についての解説

- *1) NOx法(自動車NOx法)とは：窒素酸化物の環境基準の達成を図るため、自動車排出窒素酸化物の総量を削減するための法律のことです。この対策を講じるべき地域として「特定地域」が指定されています。
- *2) 総量削減計画とは：国が定めた窒素酸化物排出量の低減の基本方針に基づき、特定地域の都道府県知事が地域ごとに作成する排出総量低減のための計画。



自動車排出ガス測定局の二酸化窒素環境基準の達成状況は、あまり良くないのだ!!

移動発生源である自動車は保有台数、走行距離とも増加しており、NOx法*1)特定地域などの大都市地域では、NOx発生源としてかなりの割合を占めています。

特定地域において総量削減計画*2)に基づく各種施策や、NOxの排出量のより少ない特定自動車排出基準を満たす車両への代替を義務づける車種規制等が行われています。



一般的には、**硫黄酸化物や光化学スモッグ**を発生させる**炭化水素**がある。近年、最も深刻な物質が**浮遊粒子状物質**というやつじゃ!!

浮遊粒子状物質には、ディーゼル車の排気ガスなどに含まれるものがあります。

浮遊粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状の物質のうちごく小さなものをいいます。

自動車による環境への影響として、**騒音の問題や振動の問題**もあります。



ここまでの交通の実態を見てきて、
みなさんはどのように考えましたか？
「としけん一家」はどう考えたのかな？

「としけん一家」に問題の特徴を整理してもらいましょう。

都市圏の
通勤問題



みんな結構長い時間をかけて通勤しているんだなあ。
通勤時間はなかなか短くならないね。

→ 参照ページ 11

混雑がない快適な通勤がしたいな。

→ 参照ページ 12 ~ 13

私事交通の
問題



平日の買い物や遊びといった私事目的ではこの10
年間で車を利用する人が意外と増えたのね。

→ 参照ページ 15

郊外に向かう高速道路は休日の方が自動車が多い
のね。

→ 参照ページ 16

高齢者の
移動問題



この10年で高齢者の交通行動はずいぶん活発化し
てきたね。

→ 参照ページ 17 ~ 18

環境問題



美しい地球を汚さないためにもこれからの交通のこ
とをもっと考えていかないとね。

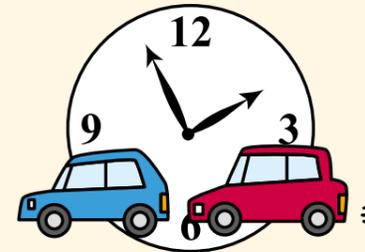
→ 参照ページ 19 ~ 20



交通にはまだまだいろいろ解決すべき問題があるんじゃ。
ところで、これからの交通を考えるには、以下のような
ことがポイントかな。みなさんはどう考えますか？

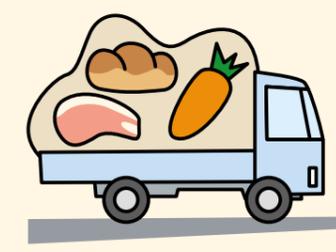
これからの交通を考えるポイント

毎日の移動に関わる
混雑解消や時間の短縮



毎日の通勤や買い物の際の交通
渋滞等の混雑解消やいつでもど
こにでもより速い移動の実現。

産業や経済活動を
支える交通事業や対策



物流コストの削減への寄与など、
持続的な経済活動・産業活動の
成長に資するような交通事業や
対策。

排気ガスの削減や
騒音の低減といった
環境への配慮



排気ガスや騒音・振動の低減など、
身近な環境問題から地球環境問
題にまで十分な配慮。

交通事故をなくす
ための交通安全対策

生活道路への通過交通の排除
や安全な歩道の整備などによ
る交通事故をなくすための交
通安全対策。



高齢者を含めた
誰でも移動しやすい
環境の実現



お年寄りや体の不自由な方も含めて誰もが快適に
移動できるような交通環境の実現。

大震災でも安全を確保
できるための道路整備

大震災時においても、安全な避
難や迅速な救援活動が行えるよ
うな道路整備。



あなたは何が重要だと
考えますか？
(アンケートの問3でお答え下さい)

(アンケートの問3でお答え下さい)



無駄のない効率的な
事業や効果的な
施策の展開



目的や効果・費用をしっかりと比較
考量した上で、効率的な事業投
資や交通施策の展開。



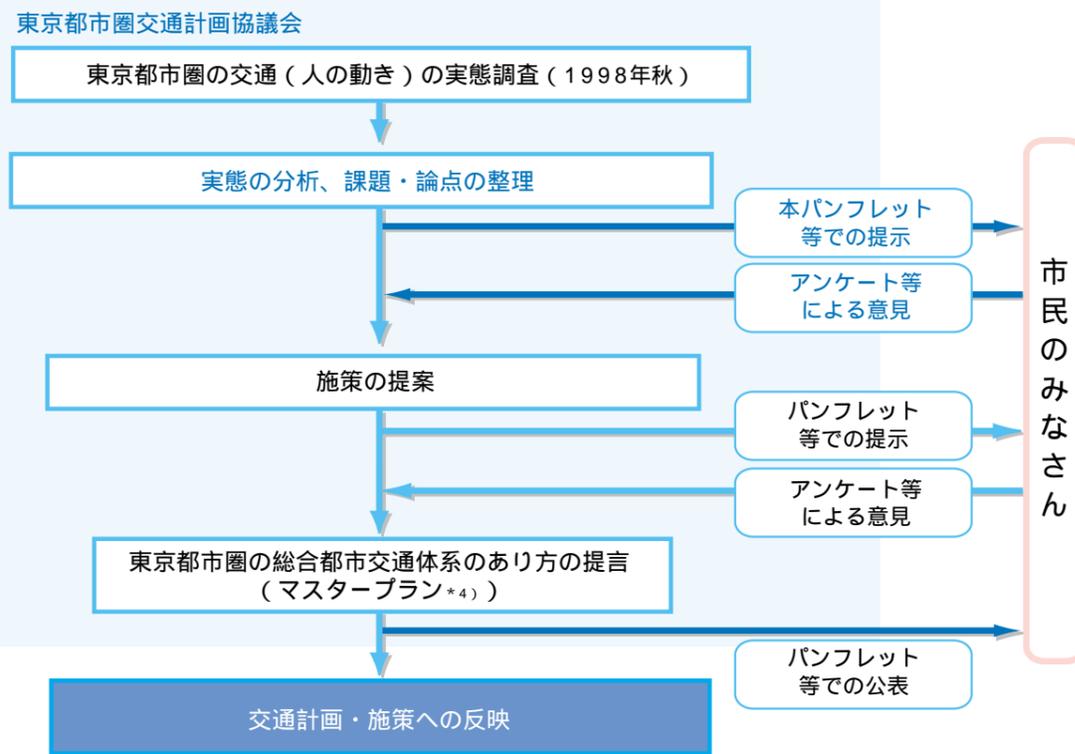
地域の問題に関心の高いお母さん(としけん かな子さん)の疑問
「これまでの問題を踏まえて、今回の都市圏の交通のあり方ってどのように検討されていくのかしら？」

今回の検討のプロセスをみてみましょう。

計画を検討・策定する段階から、市民のみなさんに情報を提示し、客観的な評価・説明をきちんと行い(アカウントビリティ*1)、意見を伺っていくこと(パブリック・インボルブメント:PI*2)が、現在ますます重要となってきています。
 検討に際しては、TDM(交通需要マネジメント)*3)施策についても、その導入の効果・政策評価を行うとともに、導入にあたっての課題等についても、



東京都市圏の総合都市交通体系調査の流れ



用語についての解説

- *1)アカウントビリティ(説明責任)とは
行政が市民に対し、どういった考え方や方向性にもとづき政策を展開していくかなどについて、合理的・客観的に責任をもって説明することをいいます。
- *2)パブリック・インボルブメント(PI)とは
行政が一般市民の意見を十分に聞きながら計画策定や事業を行っていく手法です。
- *3)TDM(交通需要マネジメント)とは
自動車利用者など、移動主体の交通行動の変更を促すことにより、都市・地域レベルでの交通渋滞を緩和する手法です。
- *4)マスタープランとは
一般的に、個別・具体的計画の拠り所となる目標像を定めた長期的・総合的な計画のことをいいます。

一人ひとりが「暮らしと交通」の問題を自分の問題として考え・行動することが必要では？

どうやら、「としけん一家」も、「暮らしと交通」に関わる問題を自分たちの問題として考えはじめたようですな。
 みなさんも、ぜひ、本パンフレットのアンケートを活用してみたいはいかがでしょうか。



次ページのアンケートで、ぜひ、あなたのご意見を！

わたしたちは、今後、みなさんと一緒に、これからの東京都市圏の暮らしと交通のあり方について考えていきたいと考えています。
 次のページのアンケートで、みなさんのご意見をぜひお寄せ下さい。
 また、わたしたちは、みなさんへの様々な情報提供、ご意見を伺うために、本パンフレット以外に、以下のような方法を用意しています。

- ・「東京としけん交通だより」ニューズレター(定期的に刊行:創刊号を主な公共施設で配付)
- ・「東京都市圏交通計画協議会」ホームページ(<http://www.ijinet.or.jp/tokyopt/>)(情報提供中)
- ・パンフレット
- ・「交通懇談会」(専門家を交えたシンポジウム)の開催

アンケートの記入にあたって

1. アンケートの回答は、次頁右下の回答欄(はがき)にご記入の上、切り取り線で切り取ってから、ポストに投函して下さい。
 なお、切手を貼っていただく必要はありません。
2. **2000年1月31日迄にポストにご投函下さい。**
3. アンケート結果につきましては、とりまとめた上で、来年の2月頃に公表する予定です。
 (「東京としけん交通だより」および「東京都市圏交通計画協議会」ホームページ上にて)
4. このアンケートについて、ご不明な点などがございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

「交通に関する意識調査実施本部」

〒162-8790 東京都新宿区市ヶ谷本村町2-9 東京多聞ビルB1

「東京都市圏交通調査推進本部」内

TEL: 03(3266)0971

FAX: 03(3266)0225

なお、同様のアンケート調査を「東京都市圏交通計画協議会」ホームページ(<http://www.ijinet.or.jp/tokyopt/>)上でも行っています。



PT TOKYO みんなのご意見をお聞かせ下さい

～ 交通に関する意識調査 ～

パンフレットにはあなたがお住まいの東京都市圏の交通に関する情報が載っていますので、参考としてご覧下さい。
注)回答欄は右隅の**はがき**にありますのでそこに回答をお書き下さい。

問 1 あなた自身が月～金曜および日曜に外出するときの主な目的と利用している交通手段に関して、日ごろお感じになっていることについて伺います。
注)職業をお持ちの方で、月～金曜日のあいだに定休日がある人はそのなかの出勤日についてお答え下さい。

月～金曜 のことについてお答え下さい

月～金曜に外出するときの主な目的は何ですか
(選択肢①～⑥の中から数字を1つ選んではがきに記入して下さい)

- 選 択 肢**
- | | |
|--------------|---------------|
| 1 通勤・通学 | 4 観光・レジャーなど |
| 2 業務・配達・営業など | 5 通院や習い事などの私用 |
| 3 買い物・娯楽など | 6 その他 |

上の目的で外出するときのそれぞれの交通手段のサービスや状況についてどのようにお考えですか
～ のうち利用している交通手段の全てについてお答え下さい(選択肢A～Dの中から1つ選んではがきに記入して下さい)

利用している交通手段	交通手段のサービスや状況	選 択 肢	
鉄道やモレール・新交通	車内の混雑、運行本数など		A 満足している(改善の必要はない) B 満足していないが、我慢できる C 満足しているが、さらに改善すべき点がある D 満足していないので、改善すべきである
バス	車内の混雑、運行本数など		
自動車	渋滞など		
バイク	走りやすさなど		
自転車	走行帯の広さ、走りやすさなど		
徒歩	歩道の広さ、歩きやすさなど		

日曜 のことについてお答え下さい

日曜に外出するときの主な目的は何ですか
(選択肢①～⑥の中から数字を1つ選んではがきに記入して下さい)

- 選 択 肢**
- | | |
|---------------|--------------|
| 1 買い物・娯楽など | 4 通勤・通学 |
| 2 観光・レジャーなど | 5 業務・配達・営業など |
| 3 通院や習い事などの私用 | 6 その他 |

上の目的で外出するときのそれぞれの交通手段のサービスや状況についてどのようにお考えですか
～ のうち利用している交通手段の全てについてお答え下さい(選択肢A～Dの中から1つ選んではがきに記入して下さい)

利用している交通手段	交通手段のサービスや状況	選 択 肢	
鉄道やモレール・新交通	車内の混雑、運行本数など		A 満足している(改善の必要はない) B 満足していないが、我慢できる C 満足しているが、さらに改善すべき点がある D 満足していないので、改善すべきである
バス	車内の混雑、運行本数など		
自動車	渋滞など		
バイク	走りやすさなど		
自転車	走行帯の広さ、走りやすさなど		
徒歩	歩道の広さ、歩きやすさなど		

問 2 交通機関があなたの身の回りの環境に及ぼす影響(設問1～5)や安全(設問6～9)についてどのようにお考えですか?
(選択肢A～Dの中から1つ選んではがきに記入して下さい)

交通機関が及ぼす環境への影響		交通安全対策について	
自動車やバイクの	1 排気ガス	身近な交通安全について	6 自動車に乗っているとき
	2 騒音		7 自転車に乗るとき
	3 振動		8 歩いているとき
鉄道の	4 騒音	9 災害時の安全性	
	5 振動		

問 3 今後の東京都市圏における交通計画を考えていくときに、右の7つの項目を特に重視していきたいと考えています(22ページに詳しい説明をしています)。

右に挙げたもの以外に重視しなければならない項目や視点がありますか?
ある場合には、具体的な内容ははがきに記入して下さい。

(利用者の観点から)

- 毎日の移動に関わる混雑の解消や時間の短縮
- 排気ガスの削減や騒音の軽減といった環境への配慮
- 交通事故をなくすための交通安全対策
- 大震災時でも安全を確保するための道路整備
- 高齢者を含めた誰もが移動しやすい交通環境の実現

(広域的にみた効果や施策展開上の観点から)

- 産業や経済活動を支える交通事業や対策
- 無駄のない効率的な事業や効果的な施策の展開

問 4 あなたの住んでいる地域で、下に示した(a)から(d)のような計画が実際に作られるとした場合、①～⑥の中であなたの考えに近いものはどれですか?
右の選択肢の中から1つずつ選んで、はがきに番号を記入して下さい。

- (a) お住まいの近くの生活道路の計画の場合 (例) 住宅地内の道路や歩道など
- (b) お住まいの近くの幹線道路計画の場合 (例) 高速道路、国道など
- (c) お住まいの地域の公共交通計画の場合 (例) 鉄道、バスなど
- (d) 広域的な総合交通計画の場合 (例) 都県を越える範囲の広域で総合的な交通計画

選 択 肢

- 計画について議論をする意見交換会などで意見を述べたい(自分が参加する)
- 住民の代表者が意見交換会などに参加して意見を述べれば良い(自分は参加しない)
- 計画についてのアンケート調査などを通して意見を述べたい
- 特に意見を述べたいとは思わないが、説明会や資料で計画の内容については詳しく知りたい
- 行政で責任をもって考えてもらった方が良い
- 興味がない

問 5 あなたは下に示した交通政策などに関わる(a)から(f)の言葉をご存じでしたか?
下の選択肢①～②の中からそれぞれ1つずつ選んで、はがきに記入して下さい。

- | | |
|----------------------|---------------|
| a 東京都市圏交通計画協議会 | パンフレットの1ページ参照 |
| b パーソントリップ調査 | 2ページ参照 |
| c TDM(交通需要マネジメント) | 23ページ参照 |
| d アカウンタビリティ(説明責任) | 23ページ参照 |
| e パブリック・インボルブメント(PI) | 23ページ参照 |
| f マスタープラン | 23ページ参照 |

- 選 択 肢**
- 知っていた
 - 知らなかった

問 6 あなたはこのパンフレットについてどう思われましたか?
下の選択肢①～④の中で、あなたの考えに近いものを選んで、はがきに記入して下さい。

- 選 択 肢**
- 興味深く読み、内容も勉強になった。
 - 読むのに苦労したが、内容は勉強になった。
 - 読むのに苦労し、内容もあまり勉強にならなかった。
 - その他(はがきの下側の<自由回答欄>にご記入下さい)

ご協力ありがとうございました

回答欄

問 1	月～金曜の主な外出					問 2	環境		安全								
	目的	鉄道	バス	自動車	バイク		自転車	徒歩	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	(該当する番号を1つ)																
	(該当するアルファベットを1つずつ)																

問 3 7つの項目以外に重視すべき項目が
1 ある 2 ない (どちらかに)
具体的な項目を記入して下さい

問 4	(a)	(b)	(c)	(d)		
問 5	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
問 6						

<自由回答欄>

日頃の交通に関する意見や、今後知りたい情報がありましたらご自由にお書き下さい。

(うら面もご記入下さい)